

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2001-70412 (P2001-70412A)
 【公開日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)
 【出願番号】特願 2000-210146 (P2000-210146)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 0 1 N 59/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 2/18

A 0 1 N 37/02

A 0 1 N 59/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 30 日 (2007.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡を手で滅菌する方法であって、前記器具を、軟水中に、0.10 重量%から 0.12 重量%の過酢酸、2.5 重量%から 3.5 重量%の過酸化水素、2 重量%から 4 重量%の酢酸、0.001 重量%から 0.002 重量%の GENAPOL (登録商標) 2908 D、1 重量%から 2 重量%のリン酸二水素ナトリウム ($12H_2O$) および 0.01 重量%から 0.03 重量%のピロリン酸ナトリウムを含んだ水溶液と接触させる工程を具備し、10 から 20 リットルの前記溶液を浸漬タンクに注ぎ、滅菌する器具をその中に完全に浸漬させ、室温で 20 分間から 1 時間放置することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記器具を前記溶液と接触させる工程に先立ち、少なくとも 1 つの洗浄工程が行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記器具を洗浄する工程に先立ち、予備処理工程が行われる請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記器具を前記溶液と接触させる工程に続いて、すすぎ工程と、次に、必要であれば、乾燥工程とが行われる請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

使用する前記過酢酸の水溶液が、0.03 重量%以下の着色剤を含んでいることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

使用する前記過酢酸の水溶液が、0.03 重量%以下の香料を含んでいることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

軟水中に、0.01 重量%から 0.12 重量%の過酢酸、2.5 重量%から 3.5 重量%の過酸化水素、2 重量%から 4 重量%の酢酸、0.001 重量%から 0.002 重量%の GENAPOL (登録商標) 2908 D、1 重量%から 2 重量%のリン酸二水素ナトリ

ウム ($12\text{H}_2\text{O}$) および 0 . 0 1 重量 % から 0 . 0 3 重量 % のピロリン酸ナトリウムを
含んだ水溶液の形態の組成物。

【請求項 8】

0 . 0 1 重量 % から 0 . 0 3 重量 % のココジメチルアミン N - オキシドおよび / または
0 重量 % から 0 . 0 0 3 重量 % の着色剤、特には O R A N G E S O L E I L W 2 0 0
(登録商標) をさらに含んだ請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

内視鏡を滅菌するための請求項 7 または 8 記載の組成物の使用。